

事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和 4年 3月 22日

事業所名: 発達療育 レンテ市川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1	体調不良の際に休みにくさを感じてしまわないよう、職員が少ない日を作るべく作らないようにした方がよいと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	4	・スロープ等の設置などバリアフリーではないが、必要に応じて支援している。 ・事務所とリビングの仕切りがない(お子様が入ってこれる)ので、対策を考えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1	・季節によってはカビが発生する箇所があったため、除湿など重点的に行なっていく。 ・外壁など大規模な修繕を行った。経年劣化や床・手すりなど日常の清掃では難しい箇所があるが、半年ごとの大掃除で点検していく。 ・洗面所の臭いはまだ気になるが、今年度、洗面所の修理やエアコンの業者清掃や建物の修繕を行なった点はよかった。 ・ケースミーティング ・月1回頻度で全員のミーティングがある
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	10	0	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	・ホームページにて公表しているものの、職員や保護者に周知されていないので、知らない人もいる。毎年の評価が形骸化しないように心がけたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	未記入(知らない)1件
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・SV(スーパーバイズ)を活用し、定期的に保護者のニーズを調査している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	・意見交換や相談がしやすいよう情報共有アプリを活用している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	・個別活動で目標としていることを集団活動で般化できるよう工夫して作成されている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	・ケースミーティングで職員間で共有している。グループ活動の前は毎回事前に流れや各職員の役割を確認している。 ・朝礼にて必要事項を共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	・気になったことや疑問点があれば、終礼やオフィス(記録・事務作業の時間)で共有している。また、職員全員が見られる情報共有アプリを活用し周知している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	支援計画更新時期にモニタリングを行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	プログラム責任者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	2	
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	保育所等訪問支援や関係機関連携を行っている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	未記入1 ・シニアスーパーバイザーが機会を設けている。 ・必要に応じて情報共有を行っている。 ・コロナウイルスの影響もあり、今年度は研修にあまり参加できていない。
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	3	・市川エリアの責任者が参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	・毎回のセッション(指導)でその日の担当とのフィードバック時間を設けている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	0	
保護者への説明責任等	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	・保護者会や父母会等はないが、保護者スペースを設置したことにより、保護者同士の交流が生まれている。 ・コロナ禍の中、集まりを開くこと自体ができない。また、全日開所していることもあり保護者会を開催するという設定が難しい。 ・Webセミナーによって、エルチェと保護者とのつながりができてきた。保護者同士の交流については、今後「就学について」「身辺自立について」などのテーマを決めて情報交換会やアイデア交換会ができるとよいと思う。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	定期的に相談の時間を設けている。また、要望がある時はできる限りその場で対応、もしくは共有し後日お話しするようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	7	・その都度、個別にお伝えすることが多い。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	0	
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10	0	

保護者等向け

児童発達支援評価表

公表：令和 4年 3月 22日

事業所名： 発達療育 レンテ市川

保護者等数（児童数）19

回収数13

割合 68.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0	その日によって、部屋の振り分けがどのように決められているのか気になる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	0	1	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	0	
適切 な支 援の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13	0	0	0	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	1	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	
保 護 者 へ の 説 明 等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	1	
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	13	0	0	0	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0	0	
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・未記入1名 ・保護者同士が気がねなくお話しできる機会があるとうれしい。 ・父母の会、保護者会はない。 ・連携は特にないが、集団療育ではないので必要性も感じていない。
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	0	0	面談や相談の際に専門的かつ良心的に話をして下さり、とても頼りにしています。
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	0	
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	4	未記入1名
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	0	0	2	
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	0	0	0	
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	0	
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	0	0	
	22 事業所の支援に満足しているか	12	1	0	0	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。